

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292200167		
法人名	社会福祉法人小羊会		
事業所名	グループホーム豊四季台		
所在地	千葉県柏市豊四季台三丁目1番4号		
自己評価作成日	平成25年11月10日	評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今までの生活が永く継続できるように有する能力を十分に発揮し「ここに来て良かった」と笑顔で過ごせるよう支援を行っている。特養、デイサービス、居宅の併設により切り替えが円滑に行える連携体制が整っている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

再開発された団地の一角にある「グループホーム豊四季台」は、特別養護老人ホーム・デイサービスが併設された施設である。施設内は、随所に絵画が飾られ、落ち着いた雰囲気作りがなされている。また、共有スペースは広く設けられており、入居者が気分によってどこでも落ち着けるような環境となっている。運営推進会議等を通じて、地域との意見・情報交換を行い、年々地域との関係性を深めている。施設の方針として「家に帰る」事を目標とし、残存機能の維持・向上や人との関わりを継続できるよう支援しており、入居者が笑顔で暮らせるよう職員間で検討しながら日々の支援に取り組んでいる。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成25年11月20日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができて (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「自分らしく穏やかに笑顔で暮らせるように支える」の理念を共有しその方が望まれる生活が出来るよう努めている。	「自分らしく穏やかに笑顔で暮らせるように支援する」という法人理念を掲げている。理念を施設内に掲示すると共に、研修を通じて職員全員への周知と理解を図っている。また、管理者が都度、施設の方針を職員に伝え、職員全員が一貫したサービスに取り組めるよう工夫している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会主催の集会や夏祭り、地元の、ふれあいサロン(喫茶)や買い物、幼稚園との交流、定期的に訪問して下さるボランティア等常に交流に努めている。	施設は団地の一角にあり、日頃から近隣住民と挨拶を交わす関係が築かれている。夏祭り等の地域行事に参加し、積極的に交流を図ると共に、近隣住民の意見を参考にする等、密な関係の構築に努めている。その他にも、地域の幼稚園との交流行事・ボランティアの受け入れ等を行っており、外部との交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や自治会の集会、毎日の散歩での地域の方々との交流等で行っている。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会長や民生委員、地域包括の皆様から意見を頂きサービス向上に活かしている	市役所職員・自治会長・民生委員・入居者家族等を構成員として、3ヶ月に1回、運営推進会議を開催している。会議では、施設活動報告や意見・情報交換を行い、施設の理解促進及びサービスの質の向上につなげている。地域からの意見・協力を大切にし、運営推進会議を地域との関わりを深めるためのツールとして活用している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	随時、報告相談を行い協力関係を築いている。	日頃から市に対して、報告や相談を行い、連携を図っている。市のグループホーム連絡会に加入しており、会議を通じて市との意見・情報交換を行い、相互にサービスの質の向上に取り組む関係性が築かれている。	

【千葉県】グループホーム 豊四季台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	構造上玄関は市に報告しオートロックになっているが居室は掃出し窓となっており束縛しないケアに努めている。	身体拘束排除におけるマニュアルを整備していると共に、管理者が外部研修に参加し、知識・理解の促進に努めている。困難事例等が発生した場合は、職員間で適切な対応を検討している。また、薬や言葉の扱いに細心の注意を払い、虐待・身体拘束を絶対に発生させないよう取り組んでいる。	身体拘束排除及び虐待防止における研修の実施を定期的に行うことにより、職員に対する知識と理解をより深めて頂く事を期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々見過ごすことのないよう注意し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人による講習を受け理解を深め活用に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書を取り交わし十分に時間をかけ説明を行い、理解、納得していただけるように努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	目安箱の設置、面会時ご家族様からの意見要望をお聞きし、運営に反映させている。	家族の面会時・電話連絡時に直接意見・要望等の確認を行っている。上がった意見・要望に対しては、都度、検討の上適切な対応を図っている。また、説明を十分に行い、理解を促すと共に、信頼関係を構築し、意見・要望の言いやすい関係作りにも努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々職員の意見に耳を傾けユニット会議において意見交換の場を作るよう心掛けている。	定期的に会議を開催しており、職員からの意見・提案を確認する機会を設けている。また、管理者が個別に職員からの意見・思い等を確認している。職員全員で目標を作成し、達成に向け取り組む等、職員の意見をサービスに反映させる工夫をしている。	

【千葉県】グループホーム 豊四季台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	向上心を持ち働けるよう各自の特性を活かした職場環境に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム連絡会主催の研修や日々のケアの中で学ぶ機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	柏市グループホーム連絡会に所属しネットワークづくり情報交換を行い日々のケアに役立てている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人からのアセスメントにより、要望、不安等把握し安心してサービスを受けて頂けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の抱える不安、要望、疑問に耳を傾け納得安心していただけるケアプランづくりを行い信頼関係を築くよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人家族のニーズを見極め必要と感じた際にはケアプランの中に社会資源を取り入れ有効活用に努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	同じ時間を共有し、何事も共に行い 互いに支えあい学びあう関係を築いている。		

【千葉県】グループホーム 豊四季台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月1回のお手紙、随時電話や面会時直接日々の生活を報告、また懇親会等を通し共に支えあう関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会、電話、手紙、病院、理髪店等これまでの関係が途切れないよう、支援に努めている。	希望に応じて、年賀状や暑中見舞い等のやり取りを支援し、馴染みの関係継続に配慮している。また、馴染みの店への外出等も支援しており、入居前の関係が途切れないよう配慮している。その他にも地域行事への参加や併施設との交流を通じて、新たな関係の構築を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活、外出等を通し互いに助け合い支え合い暮らせるよう支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご家族様の意向に添い相談や支援を行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント、モニタリング、日々生活の中での気づき等で把握し、どんなに困難でも本人主体となるよう検討している。	契約時に本人・家族から意向・生活歴・身体状況等を確認していると共に、医師や他事業所から情報提供を受け、より詳細な情報の把握に努めている。また、新しい情報をその都度、ファイルにまとめており、職員全員が常に最新の情報を共有できるよう工夫している。その他にも、定期的に会議を開催し、職員全員で本人本位のサービスに向け、検討を重ねている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のアセスメントやこれまでケアを受けていた事業所からの情報を共有し、暮らしの把握に努めている。		

【千葉県】グループホーム 豊四季台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録、排泄表、水分表、バイタルチェック表、申し送りにて現状を把握し日々変化する状態にも対応出来るよう情報を共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当会議、モニタリング、ユニット会議ではニーズに答えるためのスタッフ同士の意見交換を行い介護計画を作成している。	記録や会議での検討を基に、介護計画を作成している。定期的に、目標乗ったせい状況の確認及び評価を行い、必要に応じて、介護計画の見直しを行っている。独自のチェック表を作成し、より現状に即した介護計画の作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録で個人の様子がわかるよう記録を残し、職員間で情報を共有し今必要とする支援を提供できるよう介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々、生まれるニーズに柔軟な対応が出来るよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	商店街、行楽地、市民会館、図書館の活用、ボランティア、地域住民や幼稚園との交流等暮らしを楽しんでいただけるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医を継続していたき希望に応じ病院紹介を行っている。	希望のかかりつけ医への受診が可能となり、希望に応じて、職員の通院の付き添いを行っている。緊急時には、併設の特別養護老人ホームの看護師・嘱託医との連携が可能となり、協力体制を構築している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護との提携はないが、毎日のバイタルチェックにて健康管理を行っている。		

【千葉県】グループホーム 豊四季台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	担当医、家族と連携を密にとり早期退院に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	どのような終末期を望んでいるか確認し事業所で出来ること出来ないことを十分に説明を行い、家族、担当医と連絡を取り、方針を共有しチームで支援に取り組んでいる。	重度化・終末期においては、施設での看取りは原則行わない方針としている旨を契約時に家族に説明し、合意を得ている。重度化した場合には、他施設や医療機関への移行がスムーズに行えるよう協力体制を整えている。必要に応じて、家族との相談や意向の確認を行い、できる限りの支援を行えるよう努めている。	現在、方針を明文化し、同意を得ているが、重度化・終末期における研修の実施を望む職員の声もあり、より深い理解や不安解消の為に、研修の開催を期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	グループホーム連絡会主催の研修、消防署による救命救急研修を受け応急手当、初期対応に備えている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回特養と一緒に消防訓練を行っている。	定期的に消防署立会いの下、避難訓練を実施している。火災報知機・自動通報機・スプリンクラーを設置していると共に、避難経路を複数確保し、万全な災害対策を講じている。また、一部の職員が救急救命講習を受講しており、緊急時における対策も講じている。	団地の一角にある施設と言う背景を考慮し、より一層の地域との協力体制を構築するため、地域住民を交えた避難訓練の実施等の取り組みを期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	リビングにはゆっくりと過ごせるソファがあり居室は個室でプライバシーが守れるように配慮されている。接遇、言葉かけ等個人尊重の対応にも心掛けている。	プライバシー配慮や接遇におけるマニュアルの整備・研修の実施を通じて、職員への理解を深めている。一人ひとりに合わせた言葉掛けを意識し、入居者の尊厳に配慮している。その他にも、生活歴に合わせた柔軟な支援や好品の提供等、その人らしい生活に配慮したサービスの提供に取り組んでいる。	

【千葉県】グループホーム 豊四季台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを表出できるような声掛けや日常会話、意思決定がしやすい環境づくりに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務を優先せず個々のペースを尊重し、本人の意思行動できるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	フロアーに姿見、毎日の服選び、整容、衣類の汚れ、乱れなどないよう支援し、訪問理美容の受け入れも行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付け、片付け等の準備を職員と一緒にいき、個々が嗜好する食品や外食、行事食、地方食等様々な楽しみを提供している。	入居者の希望に応じて、食事の準備から片付けまで共同で行っている。調理や献立は併設の特別養護老人ホームで行っており、栄養バランスに配慮した食事提供がなされている。また、適時、フリーメニューの日を設け、入居者の希望に合わせた食事提供も行っている。定期的に、外食会・行事食を実施し、食に対する様々な楽しみを提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によるバランスの良い食事や繊維質、硬いものなど食べにくい食品は刻み。一人一人に合わせ工夫し提供、水分、食事量は記録し把握に努め必要確保出来るよう支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを促し、本人の状態に合わせて介助を行っている。訪問歯科受診も実施している。		

【千葉県】グループホーム 豊四季台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表により個々の排泄パターンを把握し、それぞれのタイミングで声掛け誘導を行い失禁を減らし自立に向けて支援を行っている。	排泄チェックリストを活用し、個々の排泄パターンを把握していると共に、月別・日別に記録を作成し、適切な排泄コントロールを行っている。また、トイレは広く設計されている他、便座の高さ調整機能や手すりが設置されており、入居者の身体状況に関わらず、トイレでの排泄がスムーズに行えるよう設備を整えている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の散歩や体操で身体の活性化や、水分摂取表により把握し排便を促すよう取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	夜間早朝は実施していないが日中は入居者様の希望や体調に応じて毎日入浴できる環境にしている。足浴、清拭などで清潔保持に努めている。	毎日入浴を実施しており、入居者の希望に合わせて回数等、柔軟に対応している。脱衣所にはエアコンやトイレ等が設置されており、入居者が快適に入浴できるよう設計されている。その他にも浴室には、リフトが設置されており、入居者の身体状況に合わせた入浴ができるよう配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安眠できるように日中活動していただくよう支援しているが個々の体調や希望に添って休息の時間をもうけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	いつでも閲覧出来るように、薬ファイルの作成や、服薬表にて確実、安全に支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の有する能力に応じ生活の中での役割を見出し張りのある生活や、趣味嗜好品を楽しんで、過ごしていただけるように支援している。		

【千葉県】グループホーム 豊四季台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日の散歩、外食、買い物、遠出の外出、市内近郊の出し物への参加等、戸外に出かける機会を多くもうけている他一時帰宅の支援も行っている	日頃から散歩や買物等を行い、戸外に出る機会を設けていると共に、定期的に外出会を企画・実施し、戸外での楽しみを支援している。また、地域行事への参加・幼稚園との交流・併施設との合同行事等が実施されており、外部との交流が図られ、入居者の生活の活性化につながっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本ホームで管理しているが本人の能力に応じ買い物時財布を持参する場合もある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事業所の電話を自由に使用できるが、個人の携帯電話にて連絡を取り合っておられる方もいらっしゃる。暑中見舞い、年賀状の支援も行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には自宅からの写真や身の回り物を置き、共用空間は花、レクで創作した季節の飾り物、1日数回の掃除を行い清潔にし居心地の良い空間良く過ごせるよう心掛けている。	共有スペースには、ソファやテーブルが設置されており、入居者が自由にくつろげる環境となっている。施設内は、絵画が飾られ、落ち着いた雰囲気作りがなされている。共有スペースは広く設けられ、入居者の気分に合わせて、居場所が作れるようになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアーのソファ、キッチン前カウンターで思い思いに好きな場所で過ごせるよう配置している。		

【千葉県】グループホーム 豊四季台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具、家族の写真、趣味の飾り物等を通し、自宅に近い居場所を再現し心地良い空間になるよう工夫している。	本人・家族の希望に応じて、馴染みの家具を持ち込むことが可能となっており、居心地良く生活できるよう配慮している。また、布団や畳の使用等、生活歴に合わせた居室作りも可能となっている。鍵の使用やのれんの設置も可能となっており、入居者のプライバシーにも配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	導線には、手すりを設置、居室は表札や目印、トイレにはサインプレートによる案内など、自立した生活が送れるよう工夫を行っている。		